

## 「平和主義について」

芦屋市 中野葉月

日本国憲法の中に、三大原則の1つとして平和主義が掲げられています。しかし、テレビや新聞で言われているように、今の日本には自衛隊が軍隊として存在しています。これは第9条で規定されている軍事力の不所持と矛盾しているのではないかということです。このことについて、自分なりに色々と考えてみました。

まず、私が考えたのは自衛隊は平和のためにあるのだということです。日本の平和、世界の平和のためにあるのだと解釈すれば、少しは矛盾が消えるのではないかと思います。

また、自衛隊を武力を持った軍隊、ではなく、人助けのためのボランティア、というような優しい見方をすれば、自衛隊に対する考えも少しは変わるのではないかと思います。

また、インターネットなどで調べてみると、周りの国から見れば、日本国憲法は、日本が平和ならそれで良い、という「一国平和主義」だと主張されているそうです。では、一国平和主義から世界平和主義、と他の国から思わせるためにはどのようにすればよいのでしょうか。

まず私が考えたことは、他の国の救災地や助けが必要な国を積極的に援助することです。そもそも人間は、国という存在の壁をなくしていくべきだと思います。国による個性はおもしろいですが、同じ人間として、日本は他の国に積極的に手をさしのべるべきです。日本という先進国としての立場からでなく、同じ人間として少しでも心の痛みを分け合うことができこそ、世界平和主義へとつながるのではないかと思います。

日本国憲法の三大原則の中にある平和主義は、人類を幸せにしてくれると私は信じています。平和主義には戦争の放棄と武力の不保持が唱えられていますが、自衛隊がいる限り、平和主義の武力の不保持、というところにどうしても矛盾が生まれます。しかし、世界平和のためには自衛隊が必要だと思います。なのでせめて、平和主義では、戦争の放棄というところを必ず守って欲しいです。